

動 力

Handsome

Handsome CONTENTS

No.397 September2022

巻頭
記事

8月納涼例会開催

8月例会を終えて

県出向理事・監事承認おめでとうございます

48期委員会の動力源となる副委員長たちの抱負

TSCが誇る3つ星企業

会長連載／9月例会に向けて

中央会会員のプライベートを覗き見!?私の全力夏休み日記

こんにちは赤ちゃん／役員会報告／編集後記

～今、この瞬間に全力～

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 高井賢一 ◆編集責任者／担当 副会長 小谷泰樹 ◆制作・編集 第48期広報委員会／委員長 景山貴司

8月納涼例会開催 ～ドライアスロンの慰労と今後一年の思いを～



令和4年8月17日、米子コンベンションセンターにおいて、第48期鳥取県中小企業青年中央会8月例会が執り行われました。冒頭、高井賢一会長より「お盆休み明けのコロナ禍で会の事業へ参加しにくい状況の中で8月例会へ参加いただきありがとうございます。気温も高い日が続く、大雨の降る日があるなど異常気象ではありますが、久しぶりの行動制限のない連休でした。先日、あるトーク番組をテレビで見ていた際、久しぶりに観客をスタジオに入れての収録ということで、コメンテーターの方々からとてもいい意見が出ていたように感じました。スポーツにおいても同様なのですが、他人から見られている際に力を発揮することを「オーディエンス効果」と言うそうです。8月例会は7月に行われた全国トライアスロン皆生大会へボランティア参加した会員への慰労と、今後一年を盛り上げ元気が出る内容が企画されています。オーディエンス効果でパフォーマンスを高め「今、この瞬間に全力」で取り組んでください。よろしく申し上げます」と挨拶されました。

続いて、全日本トライアスロン皆生大会の振り返りがあり、大会の振り返り動画を視聴後に、実行委員長を務めた山口尚文OBより「会員減少という将来に向けての問題も想定し、関わり方の変化を模索しました。今後トライアスロンと関わり続けていくために、どのように関わるかはその時々で決めればよいと思います。一コソコソの判断がバトンとなり繋がっていくと思います」とビデオメッセージが贈られました。また、ボランティア部・マラソン部・AS部の部長を務めた安達信彦会員・木嶋康之会員・高田典宗会員、新入会員の児玉誠博会員・藤原直之会員・田中久晶会員、「チームTSC」として選手参加した山根社会員・石



田倫章会員・津村侑吾会員それぞれの振り返りと感想のコメントがありました。

続いて、アトラクションとして委員会対抗ジェスチャーゲームが行われました。各委員会とも一致団結し競った結果、政治行政委員会が正解数トップを勝ち取り、正解数トップを導いた最優秀ジェスチャー賞を藤原毅彦会員が獲得され、笑いあり悔しさありの盛り上がりの中でアトラクションを終えました。

最後に、第48期委員会方針発表が行われました。各委員長から委員会テーマ・委員会目標・重点取組みと共に委員会メンバーが紹介され、第48期スローガン「動力」を踏まえた熱い想いの発表がされました。そして、今期一年間、回し続けるであろう「動力」を感じた8月例会は幕を下ろしました。



(記事:狩野)

第40回全日本トライアスロン 皆生大会と中央会の軌跡

◎上映された動画は
こちらから視聴できます▶



8月例会を終えて



8月17日に開催いたしました「8月例会」に多くの会員に参加いただき盛大に開催出来ましたこと、御礼申し上げます。コロナ感染拡大の影響によりハイブリッド開催となりましたが、例会内容自体は、納涼例会という形のまま行わせて頂きました。会議室という場所そして、飲食無しという環境で盛り上がるか不安でしたが、そのような困難をも動力に変え、全員で盛り上がる事が出来たと思います。第40回全日本トライアスロン皆生大会の振り返り動画を上映し、高井会長の涙を誘うことも出来ました。また、実行委員長、各部長、各新入会員、チームTSCからこの大会への熱い気持ちを全会員に伝えていただけたことも非常にありがたく感じました。山口実行委員長に於かれましては映像でご出演していただき有難うございました。

アトラクションではジェスチャーゲームを、高岩委員長の名司会のもと委員会対抗で行い、とんでもない盛り上がりを見せていただきました。賞品を協賛していただきました会長、直前会長、会員の皆様、誠に有難うございました。

最後に第48期委員会紹介、方針説明を5名の委員長より熟ずる発表を行いました。室温がかなり上がったと思います。例会担当をさせていただきます第48期正副委員長一同、突っ走りますので今後とも宜しくお願いたします。

動力委員会委員長 明穂 真一
(境港海上無線株式会社 専務取締役)

県出向理事・監事承認おめでとうございます

石田 倫章 県出向理事（総務委員会）



ウィルビー株式会社 課長

この度、県出向理事としてご承認頂きました石田です。1年間よろしくお願ひ申し上げます。所属は教育・研修委員会です。経済団体として、当会に参加されている会員皆様に有益となるようなビジネス教育事業の企画運営を行います。

今期テーマ『人～繋がり、繋げる～』の元、西部会員の皆様にも多数ご参加頂けるような事業にしていく所存ですので、このビジネス教育事業のアピールをご挨拶に代えさせていただきます。併せて、よろしくお願ひいたします。

下村 英一 県出向理事（リベラルアーツ委員会）



山陰建設サービス株式会社 営業部 営業二課 課長

第48期県出向理事を拝命しました下村です。7月に開催された県総会で皆様の「異議なし」の声に背中を押され、身の引き締まる思いです。

安岡県会長が掲げられた『人～繋がり、繋げる～』のテーマのもと、東部・中部地区会員と繋がり交流を深めながら、鳥取県を盛り上げていく仲間として切磋琢磨していただけたらと思います。その懸け橋として、皆様に参加したくなるような事業を作り上げてまいります。一年間どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

中西 悠介 県出向理事（総務委員会）



株式会社 LABO 工事部次長

2期連続で県出向理事を務めます中西悠介です！今期は東部が主幹となり、安岡県会長がスローガンを「人～繋がり、繋げる～」とされました。東部・中部・西部がしっかりと繋がり、皆様が県事業を楽しめる内容を作っていきたいと思ひます。今期も西部の色を隠す事なく1年間県役員を努めてまいります！皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

木嶋 康之 県出向監事（動力委員会）



株式会社 D・I・P

第48期県出向監事を拝命しました木嶋康之です。県出向理事は何度か経験させていただきましたが、今期は安岡県会長のもと監事という立場で県事業がスムーズに行われるよう力になりたいと思ひます。まだまだコロナ禍で考えなければいけないことも多いですが、東中西の良いところを模索しながら皆様が参加したいと思える事業にしていきたいので一年間宜しくお願ひします。

48期 委員会の動力源となる副委員長たちの抱負

長谷川 恵一 総務委員会副委員長



HASEGAWA テクニカ株式会社

先ずもって、7月14日に開催された通常総会懇親会におきましては、新型コロナウイルスが猛威を振るう情勢下にも関わらず多くの皆様にご出席を賜りました事、誠にありがとうございました。状況が日々変化する中での準備ではありましたが、3年ぶりの通常総会懇親会が開催できた事は今後の為の大きな経験となると感じています。今までの経験を活かし、会員が楽しめる委員会を委員長と共に作り上げる事、そして本年度の学びを将来に繋げていきたいと考えていますので、1年間よろしくお願ひいたします。

河津 孝彦 広報委員会副委員長



有限会社サンイン興産 専務取締役

第48期広報委員会副委員長を務めさせていただきます河津孝彦です。委員長のサポート、そして委員会メンバーが活動しやすくなるよう、1年間委員会を支えていきたいと思ひます。

景山委員長が掲げられた委員会テーマ「KYOUTOU～共闘・協賛・響答～」のもと、委員会メンバーでKYOUTOUをしっかりとして中央会活動に取り組み、感謝の気持ちを忘れずに広報活動を頑張ってください。1年間どうぞ宜しくお願ひいたします。

田本 真大 政治行政委員会副委員長



山陰酸素工業株式会社 出雲支店 LP ガス直売課課長

第48期政治行政委員会副委員長を務めさせていただきます田本真大です。副委員長の役割を考えた時に一番に思ひ浮かべるのは、委員会メンバーが毎回参加するのが楽しみになるような委員会をつくってきたいということです。高見委員長が掲げられた委員会テーマ「勇気～真剣勝負でいこう～」のもと、委員会メンバーと一緒に高見委員長を盛り立てながら、真剣勝負で一年間楽しく走り抜きたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

前田 孝二 リベラルアーツ委員会副委員長



株式会社中海葬儀社 専務取締役

皆様、大変お世話になっております。第48期リベラルアーツ委員会の副委員長を仰せつかりました前田孝二です。お恥すかしながら、このリベラルアーツという言葉は委員会名を聞いた時に初めて知りました。リベラルアーツは学ばば学ぶほど奥深く、勉強すくめの日々となっておりますので、人間的にも大きく成長できる機会だと思っております。少しでも高岩委員長の支えになればと思っておりますので、皆様、ご指導よろしくお願ひします！

渡部 直哉 動力委員会副委員長



中浦食品株式会社 大漁市場なかうら エリア統括マネージャー

第48期動力委員会副委員長を務めさせていただきます渡部直哉です。明穂委員長が掲げられた委員会テーマ「動かなくないですか？」のもと、委員会メンバーと共に1年間積極的に動いていきたいと思ひます。また、委員会メンバーの皆さんが楽しく参加でき、自己研鑽できるような委員会を盛り上げていきます。そして卒会年度であります明穂委員長の「動力」に、俺はなる！…ように頑張ります。1年間どうぞよろしくお願ひいたします。



TSCが誇る3つ星企業



株式会社 島津組 「人のために喜びたい 何事をするにも喜んでやりたい」



私の会社の3つ星ポイント



昭和40年の創業以来、常にこの気持ちを忘れることなく、お客様の笑顔を大切にすこまやかな対応で、一般住宅建築をはじめ各施設の設計から施工までを一貫したシステムで数多く手がけて参りました。現在では、大きく分けて5つの分野で事業を展開しています。

一つ目がリフォームです。部分的なリフォームにとどまらず、リノベーションと呼ばれる家全体をまるごとリフォームするようなものもあります。そして2つ目が新築住宅の建築です。弊社は工務店としては珍しくモデルハウスを所有しておらず、依頼の多くが口コミや紹介によるものとなります。3つ目は不動産事業です。住宅建築のための土地相談から、中古住宅購入の提案などを行っています。

建築・不動産、両方の相談を一か所で受けることができるワンストップサービスが好評です。4つ目は鉄道車両内装事業です。平成26年に南部町「最古級の客車」を修理したのをきっかけに、JR関係会社などから内装工事の注文が入るようになりました。そして5つ目が顧客のあらゆる「悩み」に対応するサービス、通称「くらしまず」の事業です。それについては「3つ星ポイント」で触れたいと思います。これらの事業を通じて、地域の発展に貢献することが私たち島津組の願いです。そして、地域の皆様に信頼され愛される企業でありつづけることをモットーとして、より良い環境づくりの一翼を担う企業として躍進してまいります。

1

島津組の住まいづくり



【お客様と島津組はひとつの「チーム」です】
ライフプランや資金計画など、理想の暮らしをしっかりと思い描くところから住まいづくりは始まります。その後の土地探し、プラン作成、工事着工・完成、そして長期にわたるアフターサービスまで、全社一貫となってお客様の暮らしに寄り添います。また、永年培った匠の技と最新の技術を駆使することによって、お客様に安心で快適な「くらし」を提供し続けます。

2

くらしまずのサービス

くらしまず
clasimazu
くらしのまん中に、アイがある。

【くらしのまん中に、アイがある】
島津組は「愛情・誠実・信頼」の経営理念のもと、Clasimazu(くらしまず)というサービスブランドを立ち上げました。
住宅(すまい)のお困りごとはもとより、その先にある不動産・相続・法律・税金・金融など(くらし)のお困りごとにもお気軽に対応させていただく、トータルワンストップサービスをご提供しております。

3

女性が活躍する企業



【子育てはもちろん、介護と仕事の両立を応援します】
当社は従業員51名の内、17名が女性スタッフです。その女性スタッフが業種職種に縛られることなく幅広い分野で活躍しています。女性ならではのきめ細かい視点は、お客様の満足度を高め、新たなご相談やリピートに繋がっています。特に「住まいメイト」による定期訪問のサービスは定評をいただいています。そんな女性スタッフが出産育児、介護によって離職するようなことがなく、家庭との両立を可能にする職場づくりに努めています。



所属会員から皆さまへメッセージ 大江 史紀 広報委員会

第48期広報委員会の大江です。この度、私が所属する企業の紹介をさせて頂きました。実際に取り組んでみて、自社の魅力や強みを改めて認識できたこと、そしてそのことを対外的に発信する場合の伝え方などを考える良い機会となりました。このような機会をくださった中央会に感謝しかありません。

企業情報

【会社名】株式会社島津組

【代表電話番号】0859-33-1319

【住所】米子市観音寺新町3丁目4番29号



Instagram

取材をした編集部からのおすすめポイント

お客様のためにはもちろん、従業員、そして地域の方たちを大切にしたいと非常に熱意のある素敵な会社です。住宅・不動産は決して安くはないお買い物になると思います。お客様を第一に考え信頼をしっかりと築き上げることでできる島津組様であれば安心してお任せもできるのではと感じました。皆様も何かお悩みがありましたらぜひ島津組(大江会員)に声をかけてみてはいかがでしょうか？

POWER

第48期 会長 高井 賢一
美酒佳肴ゆらく 代表

今期、隔月連載にてこのような機会をいただきました。今期スローガン「動力」を英語に言い換えた「POWER」として連載させていただきます！ つたない文章で恐縮ですが、ご拝読いただけますと幸いです。

第一回は一般的にいわれる「動力」について！ 動力とは「単位時間になされる仕事の量、または供給されるエネルギーの量」です。これを数量的に表示したものが「馬力」であり、キロワットとなります。はて？ では、中央会の「動力」を数量的に表示するとどんな単位になるのだろうか？ ほんの少～し考えて、答えがすぐに出ました！ やっぱ「人力」であり、何人（にん）でしょう！ 今期、西部青年中央会、諸先輩方、関係者の皆様のお陰もあり72人の「人力（会員）」でスタートを切る事ができました。2年後に迫った50周年に向けて、この西部青年中央会の「動力」を更に大きくしていきますので、諸先輩方、関係各所の皆様にも何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。（会員拡大にご協力お願いいたします！）

9月例会に向けて



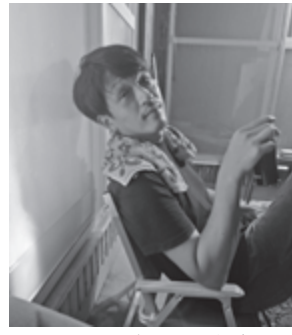
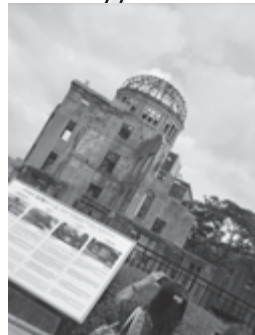
リベラルアーツ委員会委員長 高岩 雄一
（有限会社いけまつ環境 代表取締役）

私たちリベラルアーツ委員会は今まさにリベラルアーツの中にいます。リベラルアーツを経営に活かすべく、何から始めたらよいか考えていました。全宇宙をも知り得ようとしなければならないと思わされる中、実は身近なものなのかもしれません。まずは、自分を
知ること、他人を理解する事、そして、お互いの利害に沿った提案ができる事が大切と考えます。

9月例会では、まずビジネスマンという前に一人の人間として、それぞれの多様性に気付ける人間力を高めていくきっかけ作りの時間を持ちたいと考えています。例会について企画していく中で私たちは、個々の考え方を出し合い、議論し、交換し、すり合わせ、徐々にリベラルアーツについて独自の思考を持ってきてきている様な気がします。この準備期間が学びの時間となっています。例会当日は、リベラルアーツについて親しみやすい導入をご用意し、ビジネスワークに取り組んで頂きますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

中央会会員のプライベートを覗き見!?

私の全力夏休み日記!!



動力委員会 宮本 久士
（株式会社カーロード山陰
工場長）

七月のトライアスロンも終わり、日々の業務をこなす中で夏休みまであと四日という時に義母から一本の電話が入りました…。次男が発熱。はい、コロナです！会社も出社停止という事で、ドタバタと引継ぎを終えて自粛夏休みがスタートいたしました。とにかく水分多めに買い込んで看病態勢はバッチリです。すると長男も発熱…。そして義父も発熱…。はい、コロナです！

一週間程なかなか熱も下がらず、食欲も出ずで本人たちも大変でしたがその後は回復に向かい、幸い私と妻は感染せず。

そんな自粛夏休みでしたがコロナ回復後に一回だけ家族でお庭BBQが出来ました。八月の委員会、例会共に欠席となってしまい、ご迷惑をおかけしました。皆様、是非ともコロナにはお気をつけ下さい。

総務委員会 山内 正樹（有限会社サンユールビルド 代表取締役）

中央会の大先輩からマツダスタジアムのチケットを譲り受けたこともあり、徐々に家族と広島旅行に行ってきました。中学一年生の我が家の次男が昨年、修学旅行で行くはずだった平和記念公園と宮島も巡ります。平日でしたが夏休み期間ということもあり、行く先々は多くの人で賑わっていました。家族と過ごす旅行はかけがえのない時間であると改めて実感しました。帰宅して数日、夏休みがさらに10日も続くことになるとは…、この時は知る余地もありませんでした…。皆様、体調には気をつけましょう。でも楽しかった！ありがとう、家族！

みんなで待っていた赤ちゃん こんにちは赤ちゃん



広報委員会委員長 景山 貴司
（株式会社カミナリ
広告プランナー）

7月6日の第1回委員会開始1時間前に第3子となる3,920gの大きく元気な男の子が産声をあげました。まるで私の委員長としての門出を祝ってくれているようでした（私は大慌てで委員会を迎えましたが…笑）。夏の美しい空・海のように澄んだ心と輝きのある人生を送ってほしいと願いを込めて碧（あお）と名付けました。これからも3人の父親として誇れるよう、仕事も中央会活動も精進していきますので何卒よろしくをお願いいたします。

8月役員会報告

令和4年9月1日（木）米子市公会堂にて9月役員会が開催されました。議題は以下の通りです。

- 8月納涼例会開催の件
- 鳥取県中小企業青年中央会の件
- 会員拡大特別委員会委員長任命の件
- 9月例会開催の件
- ……など

※なお、詳細については各委員長までご確認ください。

編集後記

この記事を書いている頃は、8月終わり頃となりますが、皆さんは夏休みどのように過ごされたのでしょうか？ コロナも感染が非常に拡大してしまい、気を遣う夏休みの方も多かったのではないのでしょうか。中央会活動もですが一刻でも早く気を遣わない日々になることを願っています。

（広報委員会委員長 景山貴司）